

おりもとだより

2024年
夏号
vol.52



豊中 織元®

涼しやと 草むらごとに たちよれば
暑さぞまさる 常夏の花 (紀貫之)

今年はどのような夏を迎えるのでしょうか？

瓶覗 水浅葱 縹色 納戸色 藍色 濃紺.....
藍は染める回数によってさまざまな濃淡を描く
夏を彩る爽やかな色といえます

また 江戸時代の夏のきものには 流水や波
雪輪や網干など 藍を使って 涼やかさを感じる文様が
丹念に描かれています

エレガントに 涼やかに いかにも美しく いかにも心地よく装うか？
先人たちのきものは私たちに教えてくれています
色彩と文様をヒントに夏のコーディネートをどうぞお楽しみください



〒560-0021 豊中市本町4-1-8 TEL 06-6849-5298(代) FAX 06-6852-1021
<http://www.orimoto-t.co.jp>



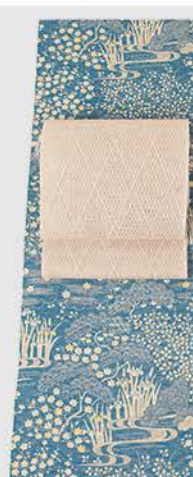
シャーベットのピンクの
雪華文の小紋に
刺繍の水玉がポップな
紹縮綿の瑞雲の染帯



シャリ感のある涼しい
着心地のトルコブルーの
小紋に夏の八寸帯で
軽やかに



優雅な沢瀉の飛び小紋
人気の黄色に
更紗の染帯は
1年通して結べる素材です



夏空のような澄んだ色は
この季節だからこそ
御所解文様に北村武資
の帯で格調高く



柳宗作の織物は
秋単衣に
葡萄の帯は
ワインの会にも



きものと出逢いと



お客様から

10年程前に知り合った方が着物の楽しさを教えてくださり
初めて誂えた思い出深いお着物です
昨夏には大好きな方のディナーショーに着て伺いました
喜んで頂けてとても嬉しかったです

ゆかたまつり

千里阪急 5階 6月5日(水)~6月11日(火)
川西阪急 1階 6月19日(水)~6月25日(火)



透け感を楽しむ夏の装い



織元 着方教室

受講料 6,000円/4回
ところ 織元記念館
とき 毎週木曜日・土曜日
・10時~12時・14時~16時



orimoto.toyonaka

